

# オゾンホール・地球温暖化

— 人為的環境変動の核心に科学で迫る —

市民・学生の皆さんも  
自由に聴講できます

講演者 宮原 三郎さん (九州大学名誉教授)

日時 2014年12月24日 16:10~17:30

会場 山口大学理学部 12 番教室

人間活動により排出される有害物質により、環境が汚染されることは古くから公害問題等として知られていた。しかし昨今では、必ずしも有害とは認定されない物質の排出が、全地球規模の環境変動を引き起こすことが大きな問題として取り上げられている。オゾンホールについてはその対策が有効に働き始めているが、地球温暖化についてはその現状認識を含めて未だ共通認識が得られていないのが現状である。

今回、オゾンホールおよび地球温暖化について、何故オゾンが地球に存在するのか、オゾンホールの成因、オゾンホールの現状と将来予測、二酸化炭素に代表される温室効果とは何か、地球温暖化の現状と将来予測などについて、基礎的な事項の説明から最新の科学的知見までを、2013年度日本気象学会藤原賞を受賞の講師にお話し頂く。

主催 日本科学者会議(JSA)山口支部

共催 山口大学教職員組合

連絡先 山口大学教職員組合書記局 (電話 083-933-5034 ; e-mail: fuy-union@ma4.seikyou.ne.jp)

観測された地上気温の変化 (1901~2012年)

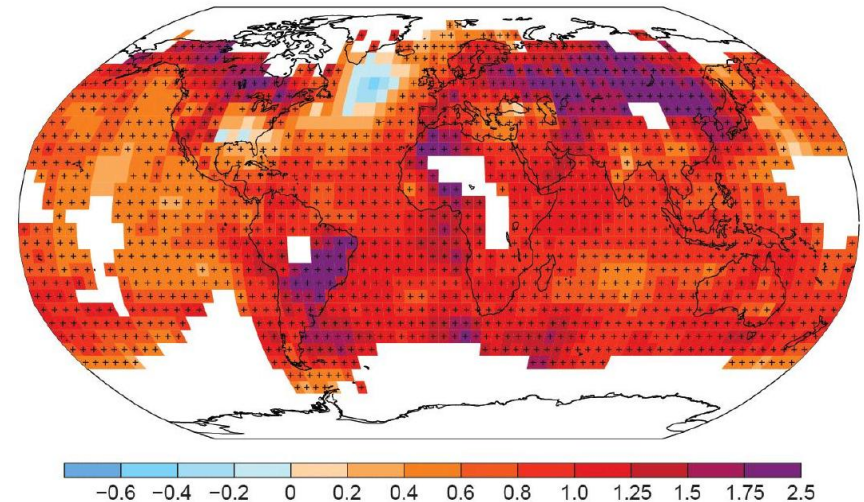


図 IPCC 第5次評価報告書第1作業部会報告書  
政策決定者向け要約 (気象庁訳) より引用